



### 学園花の村と里山倶楽部

学園花の村事務局長 藤本将

「学園花の村」は平成10年5月に故宮城正雄翁が農地の荒廃を憂い、再生を図るべく設立された市民グループです。その前年、掛川市光陽に実験農場として「光陽の里」がオープンしました。現在そこには60名の人たちが10ヘクタールの農地で有機野菜づくりに勤しんでいます。また都会から移住し農業をやりたい人が居住できるスペースを確保するために掛川市の倉真地区と初馬地区の境に「倉馬の里」を開設しました。

宮城正雄翁が400日をかけ建築業の井上忠さんのボランティアにより、荒れた茶園を再生しカンナ園や野菜畑を作りました。また林地には居住できるようロッジを作りました。しかし当初10軒程度のロッジを立てる計画でしたが景気後退の影響もあり、今は3名の入居にとどまっています。

学園花の村機関紙第67号

2012年6月3日(日)

編集兼発行人 伊藤公博

---

TEL・FAX (042) 636-8291

〒# micho@ato.ocn.ne.jp

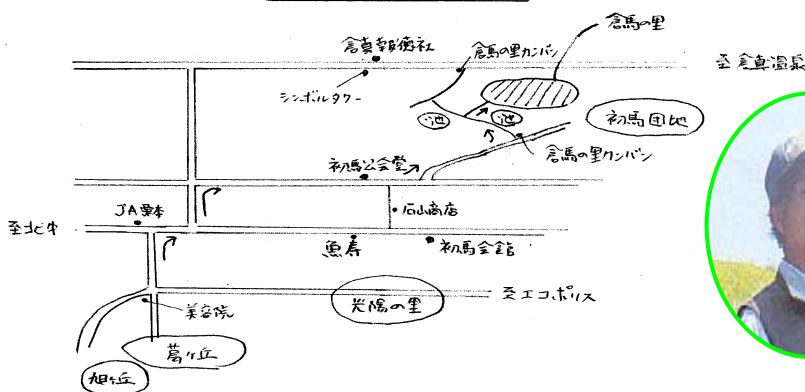
「倉馬の里」は自然に恵まれた里山で春には4種類の桜が咲き、わらび、たらのめなどの山菜に加え、美味しいだけのこも育ちます。初夏にはあやめ・菖蒲・あじさい、秋にはフジバカマ・くずなどの秋の七草、また栗や柿などと一年を通して楽しむことができます。また集会室やバーベキューコーナーや屋外トイレの施設も整っています。こうした恵まれた自然を少数の入居者だけで楽しむのはもったいないので地元の方や周辺の方に呼びかけ「里山倶楽部」を発足する運びになりました。最初は「倉馬の里を楽しむ会」とネーミングするつもりでしたが、ほかにも同じようなところがあり将来拡げて行きたいと考え「里山倶楽部」としました。

会長には溝口博之さん、事務局には池田百合子さんをお願いしました。日本の里山は林地と耕地の間にあつて多様な自然を育んできました。しかしいまや農地と同様里山にも手が入らず荒れているところをあちこちで見かけます。

里山倶楽部会員申込み先	
電話	
藤本 将	080-5088-8275
溝口 博之	090-8336-6354
池田百合子	080-5150-7798
松井 道夫	090-4853-6920



#### 倉馬の里案内図



幸い「倉馬の里」は手が入っておりありますので貴重な自然が残っています。ササユリやキンランなどの希少な植物が生え、カブトムシやクワガタなどの昆虫が生息しています。子供さんやお孫さんにも自然と接する機会を提供できればと思います。またわらわら芸・陶芸などの教室も考えています。またわらわら皆様のご参加を期待しております。